

療養費支給申請書(海外療養費)

海外旅行中や海外赴任中に急な病気やケガなどにより、やむを得ず現地の医療機関で診療等を受けた場合、申請により一部医療費の払い戻しを受けることができます。

海外療養費の支給対象は、日本国内で保険診療として認められている医療行為に限られます。
そのため、美容整形やインプラントなど、日本国内で保険適用となっていない医療行為や薬が使用された場合は、給付の対象になりません。
また、療養(治療)目的で海外へ渡航し診療を受けた場合は、支給対象となりません。

<記入の仕方>

- ※必ず手書き記入(ボールペン書きとしてください。鉛筆書きは不可です。)
- ※やむを得ない事情を除き(手をケガしてペンが持てない等)、印字による申請書は受け付けません。
- ※記入事項を訂正される場合、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容をご記入ください。また訂正印が必要です。

項目	内容
①被保険者記号番号	①マイナポータル②資格情報のお知らせ③資格確認書(健康保険証)のいずれかで確認 ※枝番は不要 ※退職後の申請の場合は、在職時の記号と番号をご記入ください(不明な場合空欄可)
②会社の名称	所属会社の名称を記入
③被保険者の氏名	被保険者の氏名とフリガナを記入
④生年月日	被保険者の生年月日を記入
⑤郵便物を受け取ることができる住所	送付物を受け取ることができる住所を記入
⑥連絡先電話番号	被保険者に日中連絡がとれる電話番号(携帯可)
⑦療養を受けた方の氏名	・被保険者本人であれば、同名を記入 ・家族であれば、家族の氏名を記入
⑧傷病名	病院で治療を受けた病名を記入
⑨発症・負傷等の原因	⑧の原因を記入 ※不明な場合は「不明」と記入
⑩発症または負傷の年月日	⑧の発生年月日を記入 ※不明な場合は空白
⑪診療を受けた医療機関等の名称・所在地 医師名	名称:治療を受けた医療機関の名称を記入 所在地:その医療機関の住所 医師名:担当の医師名
⑫診療又は手当の期間	治療を受けた期間および日数を記入(例:令和6年12月2日から令和6年12月2日まで1日間)
⑬診療又は手当の内容	治療内容を記入(問診・検査等簡潔に記入)
⑭診療又は手当に要した額	領収書に記載されている金額と通貨単位を記入
⑮受診者の情報	受診者の渡航期間および渡航目的・海外滞在の理由を記入
⑯振込先銀行口座	療養費の振込先の金融機関を記入(被保険者と同一名義の普通預金口座のみ可)

<添付書類>

医科の場合	①海外療養費支給申請書
	②診療内容明細書
	③領収書
	④領収明細書
歯科の場合	①海外療養費支給申請書
	②歯科診療内容明細書
	③領収書
	④領収明細書
医科・歯科共通	⑤各添付書類の翻訳 ※第三者による 翻訳文には、翻訳書が署名し、住所および連絡先電話番号を明記のこと
	⑥受診者の海外渡航期間がわかる書類 パスポート・ビザ・航空チケットなど当該渡航期間がわかる部分のコピー等 (診療を受けた期間に渡航先に滞在していたことが分かるよう目印をつけてください)
	⑦理由書 海外療養費を申請する理由書(書式任意)
	作成日・会社名・所属名・氏名を記入の上、押印
ケガ(負傷)による申請の場合	「負傷理由報告書」も添付してください

<提出について>

海外赴任中の方は、必ず会社人事経由でご提出ください。